제681호 1911. 5. 20.

京城新報

人の一生は重荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十四年紀元二千五百七十一年
定價 本紙 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金三十錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵稅一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊(日刊)
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行金五十錢▲雜欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久太郎
印刷人 松久勝一郎
發行所 京城西小門通 京城新報社 電話六大三番 振替口座京城四五六番
仁川支局 仁川宮町三丁目 電話二一一番

雜報

●滿洲養蠶事情

滿洲に於ける養蠶事業の有利なる事は一般に認めらるゝ所にして關東州內支那農家にても已に劉家店、長山寺附近に在りては每年副業として盛んに飼育を爲しつゝあり然れども之等は其方法何れも幼稚にして蠶業の如き野生のまゝ用ゆる柞にて上簇も勢ひ粗惡となるを免れざるも各地を通じて土質と氣候の關係よりするも養蠶の適當なるは事實なるを以て今春到る處續々飼育者現はれ就中桑苗を植付くる向少なからず今大連農事試驗場の調査に係る桑苗各地分配狀況を見るに大連管內一万二千九百八十本、旅順管內一萬五百三本及び金州管內一萬二千四百五十七本計三萬六千九百三十九本にて內重なる分配先は與水屯松方農園三千本柳樹屯造林組合五千本三十里堡乾五千本等なるが奉天試驗場を始め滿鐵各地試驗場にても近年頻りに桑樹栽培を試むるに至れるよし又大連試驗場の春蠶飼育は蠶種森岡種二匁仙臺種二匁を取寄せ去る十一日孵化したるが過去二ヶ年間に於ける試驗に徵すれば蠶種四匁の育桑は約一反步植付の桑樹にて充分なること確かめられたりと云へり

●群山近海の漁況

群山水產支部の調査に係る四月中に於ける群山近海の漁況は左の如くなりと

▲石首魚鯛鰊網漁業　主なる漁場は蝟島にして漁船集合地は蝟島なり季節自四月中旬乃至五月中旬頃まで漁船數及縣別總數は二百三艘にして山口縣十一艘長崎縣八十八艘福岡縣二十五艘熊本縣九艘大分縣七艘鹿兒島縣二十艘佐賀縣四十三艘其の漁獲物種類はぐち、にべ此の價格一萬五千二百二十五圓にして處理方法は生魚の儘販賣す運搬並に販賣狀況は多數の出買船漁場に來集し漁者より漁獲物を買收し之れを沿岸各市場に運搬放賣するの口錢は普通一割なれども五分又は八分の處ありて前年に比較すれば薄漁にして天候不良打續き爲めに漁日數を減じ隨て漁獲に影響する處不少魚市場其他に於ける賣揚高は群山魚市場三千百八十圓佐賀縣魚類共同販賣所一千六百六十六圓

▲ぶい卒釣繩漁業　主なる漁場は吳食島近海にして漁船集合地は群山なり季節自三月下旬至八月下旬まで漁船數及縣別福岡縣移住漁船の四艘にて漁獲物種類はぶい、ひらめ此の價格三百六十圓にして處理方法は生魚の儘販賣す運搬狀況は前項同上前年に比し不漁なり

●延日灣の鰊漁況

其筋に到着したる延日灣の鰊漁況に付最近の報告によれば同灣に於ける鰊漁業は擧網(朝鮮式)壺網(內地式)掬網(朝鮮式)刺網(朝鮮式)の四種類にして本年實施の網數は擧網壺網の定置に於て約百個所掬網に於て五十統刺網に於て約四百餘艘なりしが漁獲は十二月中旬開始し一月初旬に至りて盛漁期に入り二月中旬頃迄に大漁獲あり本年は例年に比して漁期長く三月下旬迄漁業を持續したる由にて漁獲高の最多なるは壺網の千五百圓擧網の三千圓掬網の千七百圓刺網の八百圓にて尤も漁獲の少なかりしは壺網の五百圓擧網の百圓掬網の四百圓刺網の百圓にて連續布設の壺網に於ては實に四千圓の漁獲を擧げたるものあり本年は漁獲總高約二十萬圓にて普通漁なりと云ふ

外事一束

△叛徒　勢猛烈爲に墨西哥大統領ディアス辭職の說傳はり墨首府人心洶々。

△墨國　叛將カラバルは十三日カナナア市を攻擊し守備官軍叛徒に降服す。

△如此　勢を得たる墨國叛徒はジュアレズ政廳を設け內閣を組織したりと。

△佛國　政府は摩洛哥救助遠征隊に摩國首府フエツを占領せしむ事に決定。

△獨逸　宰相は海外諸國在留獨國商人が一致活動商工業の發達を計り今や偉大なる名聲を博するに至りしは全國民の誇なりと演說す獨商翼可恐。

△煽動　社會黨員等瑞西に於て盛に勞働者を煽動せんとし政府警戒を加ふ。

△英米　仲裁條約草案完成英國にして速に其措置を爲さば今議會にて條約批准の機會を有するなるべし條約草案の大體は極めて簡純なりと云ふ

△摩國　騷亂に關し獨露二國は佛國の執りたる手段を誠實也と認むと協議。

△露國　政府は清國農業及びキャフトに領事館新設香港福州二館を廢す筈。

△清國　鐵道國有の上諭に對し湖南鐵道株主等反對を叫び耐得說論に努む。

△鼠疫　亞細亞土耳其のバクス市にペスト發生したりとの電報其筋に達す。

△信任　土耳古代議院は宰相ハッキパーシャを信任なすてふ投票を可決す。

△獨國　皇帝皇后兩陛下十五日英國故女皇紀念像除幕式に參列ある筈也。

◎新刊紹介

▲東京經濟雜誌(千五百九十四號)社說 米加關稅協定(社說)穀物關稅と地價の騰貴(小林博士)日本と墨西哥(武田海南)等再讀値あり(東京京橋區彌左衛門町經濟雜誌社 一部十二錢)

▲東洋時報(百五十一號)山內法學士の「簡易なる敎育普及の必要」は殖民地行政研究者の讀むべきもの此他種々有益なる記事多し(東京市麴町區內山下町東洋協會)

▲書畫骨董雜誌(第三十一號)本號の記事は殆んど朝鮮に關係あるものを以て充され其主なるものは朝鮮と美術(社說)朝鮮の藝術に就て(大岡力)藝術上の日鮮關係(高橋健自)朝鮮の美術(坂本箕山)朝鮮紀行(樋口傳)等能く朝鮮美術藝術の眞相を紹介せり(一部五十錢東京市本鄕區湯島三組町書畫骨董雜誌社)

▶貿易(第四月號)論叢には朝鮮名士の貿易上に關する有益なる講演論說を網羅 雜纂には貿易上の參考となるべき記事を揭げ當業者の指針たることに努めたり英文濟文欄を添へたるは本誌の特色なりとす(一冊十錢東京市京橋區宗十郎町日本貿易協會)

▲滿韓公論(第三號)一部十錢奉天小西關北大什字衙滿韓公論社

▲滿韓之實業(第六十五號)一部二十五錢釜山港琴平町滿韓實業協會

▲朝鮮農會報(第六卷第四號)一冊二十錢京城中部貞善坊大廟洞朝鮮農會



召使お初　第五十五回

[illegible]法師

「いかやう仰せられても、今日ばかりは御免を蒙る」と佐十郎は取られたる手を振り切つて「ちと急ぎの用もござるで……」

「さりとてお情もない、私申し上げる事あなた樣正木樣……」とお察は再び袖を取り、勇氣もなく追ひ縋り云ふを、佐十郎は振り向きもせず足早に行き過ぎぬ、女の足の及ぶべき樣もなければ、お察は風よりも疾き佐十郎の後ろ姿を見送りて。

「はて、什麼とせうぞの、お父さま叱られお暇を願ふて出る、他にこれと遊す方も無ければ、只佐十郎樣をのみ力とて、お頼んであつたを、お情もない今の御樣子、お恨み申し上げるに詞も無い」とお察は直泣に泣き入りぬ。

ろの泣顏を夕陽は照りて、若葉の風涼く涙を吹く、縋りたる藤蔓の根も切れて他に頼む物もなき谷底の暗深く呻吟ふ身を慘々心細く感ずるなりき。

德兵衛は裏門の戸の蔭に潜びて、先刻より樣子を詳しく知る、お察の姿、お察の素振、更にお察の境遇も彼の獨語する詞に由りて、大凡の事を察し得たり、お道に比べては一二歳の姉と見ゆ、顏貌も醜からず、心栄の美しさは佐十郎に對する詞の端にも現はれて、今の世に珍らしき婦人なり、お道幸福にして國尾樣御許に召し出されるとも、何れを見ても馴染なき御殿の中、さぞ淋しく賴みなく思ふならん、其時もし此女はその相談相手あらば、如何に嬉しく頼母しからん、假しお道にはこの妻なくとも、折角此方物にしたるお道を怨ち御殿へ根引きせられたる後へ、この女を移し植ゑなば、庭前に風流も添ひて、家の中睦く圓滿ならん佐十郎に振り捨てられて、何處へ行く處もなく途方に暮れたる樣見ゆるこそ幸なれ、助けて彼女の望みも聞かんと心の中に思案したれば、胸の上に袖を疊みて、悄然去らんとするお察を聲高く呼び止めぬ。

「あなた、ちよと待ち下され、お相談申したいことござります」

お察は不意に聲を掛けられて、思はず振り顧る。

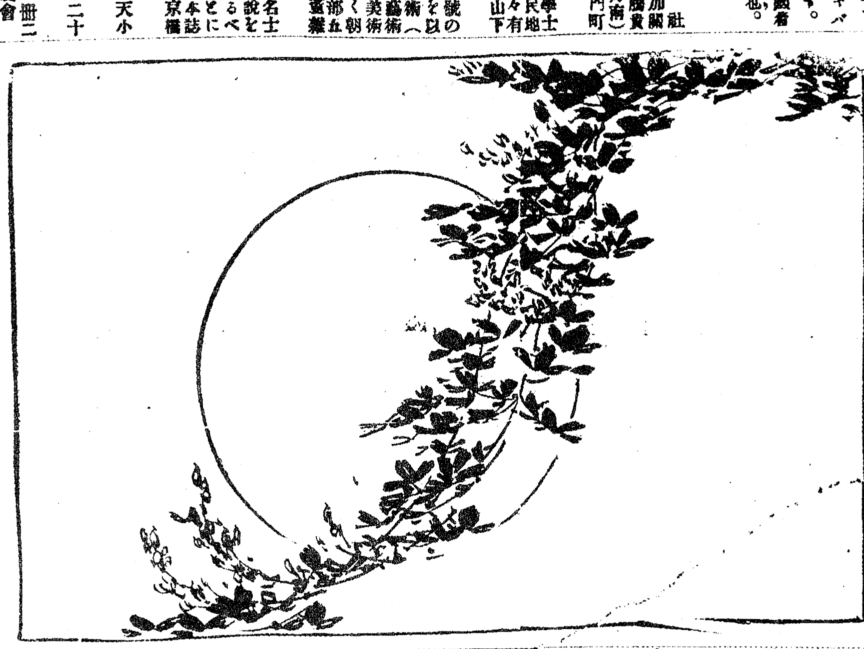
「私に……」と不審の目を光らせて「御用ござりまするか喃」

「お手間は取らせませぬ。私は當家主人海老屋德兵衛でござります。先刻よりの御樣子、詳しく承はつて、お身の上お可憐う、佐十郎樣に代りお世話申し上げたき心底、まづ此方へ御入らせござりませ」と親切に云ひ出でたり。

「有難うござります、一伍一什御聞かせと申す上は、改め申し上げる要もござりませぬ、御覧の通り賴みない身の上、平に御助けござりませ、私は毛利甲斐守樣御內松田助入娘に相違ござりませぬ」

「其事も此にて承はり、お氣の毒千萬に存じます、町人には生れたれど、他人の難儀を他所に見る者でないは、皆樣も存じであらせられる、斯樣な處にお目に掛るも不思議御緣、願いやうには致しませぬで、まづ此方へ御來らせござりませ、只今濱田樣御老女國尾樣御入來、混雜の折なれど、お話のならぬ程ではござりませぬ」と手を取らぬばかりにいふ。

お察の爲めには異に渡りの舟なりき、捨てる神に去られて、救ふ神に來り迎へられたるなれば、お察は只夢かと歡び、厚く禮を述べて、德兵衛の後より入る。



●本日六ページ

東京電報（十九日）

●東宮妃の御全快　東宮妃殿下の御容態は益々御快方に向はせられ十八日午前九時より今朝九時までの御體温は御平常御脈は七十内外御食欲御氣分共に御良好にあらせられ玉體御付き御宜しく拜し奉れり昨日の御食量は御粥四椀御汁一合五勺鷄卵二個牛乳三合スープ一合其の他野菜果物西洋菓子を少量宛食上られたり

●救恤金御下賜　山形市大火の惨状天聽に達し罹災民救恤金として金一千八百圓御下賜相成たり

●東宮千葉縣行啓　皇太子殿下には今廿四日頃千葉縣へ行啓遊ばさるゝ筈なり

●スタンダード解散判決公電　石油トラスト（スタンダード）の解散事件は大審院に於て同社解散の判決あり株式市場は既に引け後に發表せられたるが右は重大なる影響を一般財界に及ぼすべく判決後の相場は波瀾を免れざる可しと水野總領事より公電ありたり

●財界に影響なし　スタンダードの解散判決は米國財界に何等の影響なしと水野總領事より公電あり

●日西通商條約内容　去る十五日マドリッドに於て調印を了せる日西通商條約は荒川公使より條約正文を我政府に郵送し來れり本約は日本側に於て批准交換をなすに至るべし其の内容は不日發表せらるべきが重なるものは最惠國待遇及其の他現行條約の片務的條項を廢除し相互の利益を協定せり

●米國艦隊の歡迎　昨十八日來京せる米國艦隊の將校を伊集院宣部長主催の下に歡迎會を開く筈なりと

●北海道山火事慘狀　北海道に於ける山火事は未だ鎭熄せず非常の慘狀を呈しつゝあり

●小樽大火詳報　十六日午後十二時小樽市稻穗町二十一番地より發火し折柄の東風烈しく火は忽ち大勢を極め消防の力も之に及ばず延焼戸數千餘戸に達したり

伯林電報（十九日）

●佛國軍隊の行動　五千の佛國兵は再び首府を出でたり

●英國の獨帝歡迎　英國諸新聞は獨逸皇帝に對し熱誠に歡迎辭を發表したり伯林に於ても等しく熱誠なる反響を得たり

雜報

●度量衡の普及　八見商工課長談

改正度量衡普及の過去現在及將來に關し商工課長八見大次郎氏の語る處左の如し

●周到なる用意　改正度量衡の施行に就ては年此間に於ける施行狀すべからざるものを選ばざる一般地方を迫るものなれば言ふまでも無く施行地域を定むるや其の現品を携帶し一々現物を示め又實際的に彼等を會得せしめ其用意の周到比敵するものなかるべし又之に就ては相當檢定機關を設けざるべからざるが之に關しては未だ何等の議にも上り居らず吾が内地各府縣にては總督府現在定員以上の機關を設け居れり然れば朝鮮に於ても各道に檢定技手を配屬せしめ以て其必要に應ずるの要あるべし

●現在の普及地域　今日まで普及したる地域は合計二百十三府郡にして之を大別すれば南北道全部百八十二府郡及各道三十府郡に亘り南全南の三道の内四十府郡は七月より施行せるも普及地域に於ける昨年までに於ける實下高左の如し

度器	個數	一〇三、三一八
	價額	四八〇、四三〇
量器	個數	九〇、九三〇
	價額	四五二、八五〇
衡器	個數	一七、一〇〇
	價額	七一、九〇六

即ち個數に於て二十一萬一千三百價額に於て九萬一千六百五十

●未施行地の將來　將來は京畿道江原道は四月より平安南北道は本年七月より施行すべく之が爲め目下準備中にして約十五六萬圓を要するに到るべし又咸鏡南北道に對しては明年七八月頃を以て半島全部の普及を果すに到るべく累計實下高を算するに到るべし即ち豫定以前定めたる普及は約半箇年を短縮したるなり

●普及後の檢定　以上の順序に從ひ普及を了ゆる豫定なるも若し其後に於ける檢定を等閑に付する時は再び舊度量衡の狀態に復歸するに到るべく故に公差を生ずるも…

●總督府も同意　過日京城に開催したる全國商業會議所聯合會は豫期以上の成功を以て終焉を告げ日鮮經濟的結合の前途に一大光明を點じたる次第なるが聞く處によれば總督府に於ても同會の決議に係る建議事項に就て非常の好意を與へ且つ之を容るゝに吝ならざるものゝ如く就中勸業博覽會を京城に開催の件は既に同意を表し其の費用概算二十餘万圓を以て同府直轄の下に開設すべく内議決定し山縣政務總監東上の上關係各省と協議を遂ぐる筈なりと其他穀物移出稅撤廢の件及鐵道賃金低減の件も略ぼ同意を表し居れる由なり

●定例長官會議　十九日午前九時より總督府に於て定例長官會議を開き寺内總督山縣政務總監倉富石塚木内荒井宇佐美小松の各部長官大屋池田の兩局長官明石警務總長俵副總裁列席政務の打合せを爲し午前十一時散會せり

●愛婦盛典と會則要項　愛國婦人會朝鮮本部にては既報の如く來る二十七日總會を開催なすことゝなりしに付此程來職員委員熱心に盡力に依り日鮮婦人の篤志者にして新に贊同加盟する者頗る多く現に軍司令部及京城衛戍病院の將校夫人にして從來入會の機會を得ざりし者も今回擧て入會する由なるが今一般有志の參考に資せんが爲本會の要項を擧ぐれば左の如し

愛國婦人會要項

一、本會は皇族を推戴して總裁とす

一、本會は戰死並に準戰死者の遺族及廢兵を救護するを目的とす

一、本會の資產は左の如し

帝室の恩賜金

本會の所有に屬する動產不動產

會員の醵金及贊助員の納金

篤志者の寄附金

本會所有の財產より生ずる特別の收入金

一、本會の會員は婦人にして左の三種とす

名譽會員　皇族を推戴す

特別會員　十ヶ年間毎年二圓宛納むるか又は一時金十五圓を納むる者

通常會員　十ヶ年間毎年金一圓宛納むるか又は一時金七圓を納むる者

右の外男女に拘らず一時金七圓以上を納むる者は贊助員とす

一、特別會員通常會員には各所定の會員章及協約狀贊助員には贊助員章及贊助證を贈與す

一、朝鮮本部管掌の事項は左の如し

一、朝鮮在留内地婦人は勿論朝鮮婦人有志者を誘導して會務の擴張を圖ること

二、入會者に協約狀及徽章を交付すること

但一時出金者並に年賦義務を終りたるものには終身會員認定狀並に紅組を添付するものとす

三、男女に拘らず一時金七圓以上出金者に贊助證並贊助員章を交付すること

四、有功章謝狀贈與規則に照らし定數と寄付金又は定數の會員紹介者に相當の賞狀及有功章を贈與すること

朝鮮本部は前事項の外會長の承認を經て本部費を以て朝鮮在留陸海軍人遺族、傷病者の慰問救護を實施するのみならず日鮮婦人間の親和啓發上並に會務擴張に關し必要なる事項を實行することを得

●京城民團戸口　四月末日調査にかゝる京城民團管内（京龍）の戸口數を聞くに戸數一万二千五百六十五、人口四萬九千八百六十一にして内男二万七千八百八十六、女二萬二千七十五人なるが此外未届の者を算し實數の上に於て五萬に達せん見込なりと

●鴨綠江材内地移出　鴨綠江流域より伐り出す木材の大部分は清國の需要に充て居れるが總督府營林廠に屬する分は主として朝鮮に於ける官營建築用材に使用し其他も多くは朝鮮在住者の使途に供し居りしが近時產額頗る增加の傾向ありて落葉松、紅松唐檜、赤柏松、檜木、胡桃等は内地關西方面の需要に充たしむるの希望を有し營林廠にては過般來鮮したる商業會議所の代表者等に夫々協議したりと云ふ因みに價格は二間尺〆にて落葉松七錢五厘紅松七錢五厘檜木二十六錢二厘見當なりと

●内地人處有地所　京城民團最近の調査によれば京城民團區域内に於て内地人の所有する土地は宅地四十一萬二百七十四坪畑地六十一萬七千五百三十八坪山野池沼六千三百四十坪なりと

●小作組合の增設　朝鮮に於ける驛屯土は曩に東拓會社に引渡したるもの以外に多數あるも之等は悉く國有地として經營しつゝあるが此小作に從事する鮮人農夫は約三十萬人あり國有財產として管理するには目下種々の方法を施行し居れるも更に一方に於て小作人を獎勵せば從て一般農事の進捗を計る次第なるを以て當局にては其第一著手として昨年より國有地の集團せる場所にては小作人組合を成し種子を與へ耕作資金を貸與し又は零細の貯金を獎勵などなしつゝありしが成績極めて良好なるを以て本年は更に五十ヶ所の組合を增設し一組合には其資本として五百圓宛を取り敢へず補助する事に決定し近々交付すべく尚各組合に倉庫を設けて組合員をして命課組合又は農工銀行より耕作資金の融通にも便せんとするの計畫もあり何れも朝鮮下級の農民を保護し農事を開發するに於て非常の好結果を見るなるべしと云ふ

●佛國公使の入京　南米秘露駐剳佛國公使ジアンギウマン氏夫妻は既報の如く十八日午後八時十分南大門驛着入京直にアストルハウスに投宿今明兩日間當地に滯在の筈

●總督の公使招待　寺内總督は十九日午後一時より別項昨夜入京したる佛國公使夫妻及京城駐剳佛國領事代理夫妻を主賓として山縣政務總監小宮次官夫妻小松兒玉の兩局長夫妻明石警務總長、外波、中山、藤田の諸氏を總督邸に招待したり

●果川郡の觀光團　京畿道果川郡に於ける各面甲洞長有志等五十餘名の一行は京城觀光團を組織し郡守郡書記等に引率せられ十八日入京したるが主として諸官衙農事模範場等を視察する筈にて十九日は中大路内務部長引率總督府に至り寺内總督に面接したりと云ふ

●政務總監と郡民　別項記載の如く果川郡觀光團は今十九日午前十一時總督府に到りしを以て山縣總監は總督代理として一同を樓上に引見し宇佐美内務部長及深尾庶務課長等立會の上藤波通譯官の通譯にて大要左の意味の談話ありたり

諸士は觀光のため入京につき其序を以て工業傳習所農事模範場及種苗場等視察せらるゝならんが其見聞せし所は歸鄕の上にて未見の者に傳へ又は之を實地に應用して產業の發達に資せられん事を望む云々

▲人さま〴〵▼（三十五）

大久保雅彦君

京城辯護士會長大久保雅彦君は法學院の出身で愛媛縣の人だ、曾つて大枚百三十金の巨額を才覺して大膽にも代議士競爭の戰陣に乘り出し、見事當選したは能いが、家も藏も人の物たらんずる悲境に陷り一萬餘圓の借金を背負ひ込むで居つたといふ有名の逸話がある、當地に渡來したのは三十九年、爾來二回とも辯護士會長に推薦され、復以て其人氣の旺盛なるを知るべしである、故にサシもの大傷も既に全く癒たであろう、君は口八丁手八丁で又多藝多能で歌も謡へば踊りも踊る、殊に男前が能いので羨ましい位だ持てる薙刀は君の特技であつて人觸るれば人を斬り馬觸るれば馬を斬る其達觀此方面に掛けても撰擧競爭當時の勇士たりし俤を失はないで

●總督の支店長引見　市原韓銀總裁は十九日午後八時各理事及支店長會議に出席の爲め來京中なる各支店長出張所長三十余名を隨へ總督官邸に趣きて寺内總督に敬意を表したるが總督は荒井度支部長官藤原財務課長兒玉會計局長等と共に茶話會を開かれ席上寺内總督の挨拶市原總裁の謝辭次に荒井長官藤原課長より一般金融に關する談話あり午後十時散會したり

●三月中電報增減比較　電報料の輕減以來通信の速達を利用せんとするもの增加したるは自然の趨勢なるべきが今三月中に於ける電報發信の狀況を見るに和文は十四万三千六百歐文は七百五十二通譯文は一萬六千七百一通にして此料金は和文五万七百九十三圓歐文四百六十一圓譯文四千三百七十四圓なるが之を昨四十三年の四月に比較すれば和文は通數に於て三割歐文は六割譯文は三割の增加にして料金は和文三割譯文三割の割合に增加しつゝあるも歐文は約三割の減少なりと云ふ

●新會社設立許可　會社令發布後に於ける新設會社の出願にして昨日までに許可の指令を與へたるものは株式會社六、合資會社三、此資本金額七十七萬七千圓を算せり而して其大數は併合以前の計劃に係るもののみにして營業目的は貸金二、運送一、印刷二、電氣事業二、其他二なりといふ

●本年度電話設備　京城市内に於ける電話の需要は日々進歩しつゝあるが三月末日の調査によれば千九百六十一個にして本年度内には京城市内にのみ尚百五十個增設の筈なるが其据付けは大部分を本年十一月中に終るべしとの事なり

●仁川祝賀準備　既報の如く仁川築港設計公表となりしを以て仁川築港設備委員會にては十七日午後三時より民團樓上にて委員集會工式祝賀會開催の件に付て協議をなし市中より六十餘名の委員を擧げ祝賀準備に當らしむることゝなし午後五時散會十九日午後八時より更に委員會を開き具體的の協議をなす筈にて尚擧行期日は未定なるも二日間に渉り大々祝賀を催ふし大に仁川市中を賑はす計畫なりといふ

●咸北の窮民　咸北慶興郡内に於ては米價騰貴のため應急救助を要する極貧民八百餘名を生じ郡衙に於ては救助方法を講究中なるが同地方の人民は相互に救濟する觀念篤きを以て餓死者を出すが如き事なかるべしと

●本月中滯納處分　京城民團にては去月中四十三年度分民團稅滯納處分執行數は差押總金額五千九百六十六圓七十八錢にして此人員三百八十一人なりしが本月中四十一、二、三年度分に付き滯納處分を執行すべきは約千戸以上に達すべき豫想なりと云ふ

●新韓民報頒布禁　米國桑港に於て發行の新韓民報第二二七號は治安妨害の廉を以て其の發賣頒布を禁止されたり

●佛國公使の警衞訪問　前號記載入京中の佛國公使ジャンギウマン氏は着京の際出迎を受けしを謝する爲め十九日西大門警察分署を訪問し其序を以て佐土原署長に就て警察上の事を聞取たり

●視學編修兩官の任命　過般制定せられたる官制により新たに視學官編修官を設くる事となりたるが當局に於ては其人選に關し種々物色中なりし處今回石田新太郎氏視學官（四等）に立柄教俊氏編修官（六等）に各々任命せられたり

●[illegible]道長官の出張　[illegible]道長官は江華、喬桐、通津、金浦、陽川の各地方に於ける授產場の狀況視察のため來る廿二三日頃約十日の豫定にて出張すべしと云ふ

●菊池氏の送別會　大邱民團長として來る廿一日赴任の筈なる菊池議長の送別會は十八日午後七時より花月に於て開かれ來會者多く頗る盛況なりし

●菊池議長の出發　新任大邱民長菊池議長は廿一日午前九時南大門發列車にて赴任すべしと云ふ

●岡支配人の卜居　日韓瓦斯の岡支配人は南山町二丁目卅六番地に卜居せり

●佐々木部長の引籠　土地調査局佐々木部長は微恙のため引籠療養中なりと

●巨濟島鯖漁況　鮮海に於ける鯖の大漁場といへる巨濟島方面の漁況は一般に不況なる本月十三日迄の調査によれば本年の鯖漁獲三百万尾に足らず是れ主として鯖網の數昨年の三十組に比して約二倍半即ち八十組に增加したると及び時季の關係並に水溫氣溫の度等魚群來游の稀薄等に歸するものなる由にて昨年の盛漁期を二分して上半期に於ける漁獲高三百萬尾、下半期同三百萬尾合計六百万尾なりしが本年下半期の漁獲高は三百萬尾に達し得るや否や見込立ち難く多少當業者中の悲觀は免れ能はずと尚は其賣買價額に就し昨年は鯖の缺乏、運搬船の不足の爲め一尾一錢以下迄下落せしこととありしが本年は今尚三錢を下らず詳審なる漁場調査によれば長生浦は漁業網五十一組にて漁獲高九十三萬尾之に海上に於て直ちに運搬船に賣却せられたる漁獲高を加へて約百五十万尾、舊助羅は漁業網十五組此漁獲高約七十三万尾、知世上鯖漁業網十一組此漁獲高約三萬尾通計二百五十萬尾と概算したり

●鴨綠江水路嚮導　四月中に於ける鴨綠江の水路嚮導船舶は出船總計二十二噸數一万九千百四十六噸入船二十三噸數二万三百五十六噸なるが出入とも日本第一位にして諸威之に次ぐと云ふ

●平壤の度量衡檢查　平壤警察署にては今回管内に於ける人民の使用する度量衡を臨檢したるに不正器と認むべきもの度三百七量百九十衡四十八あり何れも任意破壞せしめたりと云ふ

●痘苗配布及賣下數　内務部より客月中各道に配布及賣下げたる痘苗點數を聞くに配布點數十六万七千〇九十五點賣下點數三千七百〇三點なりといふ

●鎭南浦大祝賀會　平南線既に開通し電氣會社は本月下旬營業開始す可く一面日鮮民の期待しつゝありし鎭南浦の築港工事は着々として進捗し多年の宿望たりし水道工事も近く工事に着手さるゝ事となりたるを以て茲に始めて同港民の發展に伴ふ諸般の設備計劃全く成りたるを以て開港官民は合同して大祝賀會を催すべく目下民間に於て頻りに計劃中なりと

●利川郡の消防組織　京畿道利川郡内にては日鮮有志家の篤志によりて消防器具を購入し日鮮人四十五名の消防隊を組織して所轄憲兵隊の指揮を受くる事になりたりと云ふ

▲茶袋▼　吾が内地及三領土に於ける人口租密の現勢を見るに内地は一方里千九百八十九人臺灣は千三百九十八人朝鮮は九百二十七人、樺太は僅かに十二人である▲若夫れ朝鮮をして内地同樣たらしめんと欲せば、尚ほ千六十二人を容れなければならぬ、世に前途遼遠の感なきを得んやだ▲ソコで試みに一箇年間に内地同樣たらしむべく計算して見ると千四百九十九万八千六百十六人を收容し得るのである△而して小村外相の所謂滿韓移民集中方針は此計算から割出されたのだそうだ、成る程木賃宿でも住みさへすれば可いといふ論法から言へば尤もにも聽ゆる▲地方部衙へ行くと併合以前の遺物が澤山あつて其中にも大皇帝陛下何々御記念杯と麗々しく書いたものが到る處に見ゆる▲現に水原の物產陳列館にも夫れが在るので、内地から來た觀察者が之を見て眉を顰めて曰く乃公若し朝鮮人ならば自然今昔の感に耐へぬ、故に宜しく加減に撤去したら[illegible]

相場電報（十九日）

▲大阪株式（六月限）

[illegible]

▲大阪期米

[illegible]

▲仁川米豆取引　同上▲七月寄三十九錢▲止同上▲後場五月寄十六圓八十八錢▲止九十二錢▲七月四十二錢▲止四十四錢▲後場五六月出來不申▲七月寄十一圓四十六錢▲最高四十七錢▲最低四十五錢▲止四十六錢

公人私人

▲若槻兒三郎（釜山府尹）十八日巳城

▲矢野久三郎（鎭南浦稅關長）同浦尾旅館へ

▲白木光三郎（陸軍二等主計）同山本旅館へ

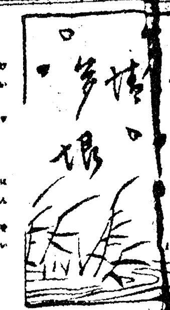
▲八島增八（總督府技師）同島旅館へ

▲南大門驛貨物　乘車客　八五九　下車客　九三七　乘車賃金　一、八一〇、三五　發送　七一噸　到着　六〇六噸　十九日の分

▲龍山驛乘降客　十九日の分

▲龍山驛荷扱高　發送　六噸　到着　七六噸　貨物賃金　一五、一六　十九日の分

▲大阪株式（六月限）[illegible]



京城藝妓の半生（三）
井門本店　奴

[illegible]塚本と云ふ青年商[illegible]云ふ程でもないが金放れの美い遊治[illegible]水も漏らさぬ兩人中[illegible]塚本君の足が止まつた、手紙を遣つても使ひを走らせても[illegible]

浮氣妓

[illegible]

落度

[illegible]

指輪

[illegible]

吉子と云ふの出來るのも

[illegible]

朋輩藝妓

[illegible]

寢取られて

[illegible]

寢刃を合はせた二挺の剃刀

[illegible]る事がある巳れ[illegible]はせて機會の來る[illegible]の時の榮吉はモウ[illegible]は恰ど四十一年の[illegible]吉子さと共にシケ込[illegible]

命を貰ふと暴れ込んだが女兩人の鑛

[illegible]にも飽きが來たが[illegible]水臭いやら自暴や[illegible]を取つて兎は騒く[illegible]仲居衆に抱き止め[illegible]面白い事もないの[illegible]つて居る内に

山師の大騷動

[illegible]郎と云ふ人に世話[illegible]面當て牛分巫山戯[illegible]塚本君元木に勝る[illegible]事に勘付いて榮吉[illegible]から躊々ながら吉[illegible]上村に氣取られて[illegible]上つたので新聞の[illegible]くの不始末にフ[illegible]あつて其の年の十二[illegible]事になつて渡鮮し[illegible]出てからの奴は不々[illegible]ないのである（終）

翡翠樓　江戸奴

機密書類を種に詐欺

▽元騎兵曹長の懸計　長野縣南安曇郡三田村百二十番地生れ大竹直茂（三二）は騎兵曹長として朝鮮駐[illegible]明治四十三年十一[illegible]課部の保管に係る物[illegible]類中に所要調査記事[illegible]射擊場收容に關する[illegible]其の全部を寫取り[illegible]騙取せん事を企圖し[illegible]坪平均一錢五厘とめ[illegible]金二萬三千八百五十[illegible]二萬八千五百圓と買[illegible]年度とあるを四十四[illegible]鐵道用地を買收し置[illegible]中旬頃て知合なる朝[illegible]の如く各調査書[illegible]京城南部苧洞居住）に[illegible]此の際鏡城附近の土[illegible]大の利益ある可く而[illegible]地を陸軍に賣込む[illegible]其の手續方法を熟知[illegible]さて金壽憲を欺罔し[illegible]りと稱し服裝費等を欺

購入其他必要費用等の名義の下に十一月二十日より十二月五日迄の間に於て金二百四十八圓を騙取し第二更らに前記土地買收の爲め北韓鏡城方面に出張すべく其の旅費として金壽憲より騙取せんと十二月六日釜山大市旅館より金壽憲に宛て電報を以て金五十圓の送金を申込みたるに其の時金壽憲が直茂の擧動怪しと疑ひ送金せざりし爲め其の目的を達せざりしが其の後該事件京城第一憲兵分隊にて之を探知し直茂が京城に來り照義門通り四十一番戶古原乙吉方に潜伏中を取押へ檢事局に送り兩角檢事の手にて取調終了地方裁判所公判に付せられたり

女振り（十一）

遠藤達君二女　遠藤孝子

れ父さんの遠藤達君は總督府通信局事務官であらるゝ、孝子さんは本年正に鬼も十八番茶も出花と云ふ其の十八であらるゝ、鬼も十八である、孝子さんは夫れ然り豈に夫れ然らんやの菩薩の十八であるから荘麗端嚴とも眉目清秀とも明眸皓齒とも例へつべきである、東京麻布霞町の御生れで現住所は大和町三丁目の官舎である、四十三年度京城居留民團立高等女學校を優等で卒業せられて現に家事に從事せられて居らるゝ、溫順な而して淡泊で言葉なら動作なら誠にハキハキしたもので娘の子に通有な他人に對つては滿足に挨拶も出來ないと云ふ如な所はない、シックリと落着いて何かれ話しに成る案配水際立つたものだ、在學當時から品行は滿點である、裁縫と數學が取り分けてお達者である、食物の御嗜好は此れ薩は特別として鮨のお刺肉が一寸のれ好き。

●貧乏から出來心　仁川

警察署にては去る五日管内密淫賣婦檢擧の目的にて伏魔地と目指さるゝ各所に就き檢査を行ひしに案外にも内洞七統二戶林準鐘が南滿洲鐵道株式會社てふ印章を彫刻し居るを發見せしより此奴怪しと詰問せしに只去る三月十三日頃四十好恰なる一人の日本婦人より三十五錢の彫刻料にて鐫台たる旨答辯し更に不得要領なるより益々可笑しと同署にては種々精探せし處全く原籍福岡縣糟屋郡箱崎町當時仁川山根町二丁目中村彦次郎方井上和太郎（四三）が曾つて京義線の工夫長を務め其傍南滿鐵道會社に奉職中負傷の爲め三百圓の手當を下附せられて本年三月仁川に來りしも不具者の思ふに任せず袖手無爲の結果該手當金も消費し茲に糊口に窮迫して遂ひにも無き惡心を起し該印章を彫刻して南滿よりの證明書を作成し一種の醵金を同情者に仰ぎ以て糊口を繫がんとて前記の始末なりし事阪下刑事の探知する處となり十七日同署に引致目下取調中

●公金千圓を拐帶　平北

安北道中の島郵便所の遞送夫鮮人沿炳泰（十八）去る十七日新義州郵便局へ郵便物遞送の途中金千圓在中の行嚢一個を拐帶逃走して踪跡を晦ましたり

●停車場内の掻浚　新潟縣中頸城郡吉川村當時住所不定上野源三（三〇）は四月十一日午後十時四十分南大門驛構内一二等待合室入口に置きありし昌德宮警察署巡査中尾誠吉所有の毛布一枚を竊取し南部署に突出され檢事局に送られしが京城區裁判所に於て懲役二ケ月に處せらる

●花見中を御用　香川縣人當時京城本町八丁目一番戶塚秋次（三九）及同居同縣人田中正吉（二七）同居大分縣人小野與市（三六）愛媛縣人當時櫻井町五十番戶宮本高三郎（三二）の四名は十八日午後十一時頃本町八丁目大東湯裏に於て金錢を賭し博奕の現場を南部署の巡査に檢擧され目下取調中

●金光教會員大會　金光教會春季大會を永樂町三丁目の支部に於て二十日午後一時より大祭を擧行し式終了後本部高橋中教正の說敎あり終りて信徒數百餘名は奬忠壇に於て園遊會を催す由

●リウマチスの名藥　ウウマチスの恐るべき惡病なるは今更云ふ迄もないてとだ今回東京淺草仲見世天勇横町井筒屋油店で販賣して居る井筒屋藥は普通一般の賣藥と異なり其効果は確實である最も有力と思ふべきは『病氣が全快した』との感謝狀や手紙やはがきで幾通も〳〵來て居るとのことだ

●特別傳道會　旭町二丁目日本メソチスト教會にては十九、廿、廿一日の三日間毎日午後八時より讃美歌獨唱を以て牧界に有名なる長崎鎭西學院教授スミス師を招聘し特別傳道會開催の由にて倚木原部長、矢崎牧師の說敎ありと

●滑稽笑會　初音町臨濟寺圓山太嶺禪師は法會に久しく客勤中の處去る十四日歸京す二十一日日曜日午後三時より微笑會例會を開かるゝ由

●パコタ公園の奏樂　鍾路通りなる同

園の噂の如き、巷說已に跡を絕つて閑口[illegible]

龍山の大阪相撲

▽初日の重なる取組　鎌で噂ありたる大阪相撲大木戶岩友の一行は愈々十九日夜汽車にて南大門驛に着山玉足袋商店の寄贈に係る音樂隊を先登に花々敷龍山に乘込むべく尙は一行到着の際は驛前に於て烟花二十發を打揚ぐる筈なる場所は龍山練兵場前の廣場にして

二十日初日　開場

す場内には電話の設けもあれば極めて便利なるべし（特設電話四十五番）因みに烟草會社東光社よりは自家製烟草二千袋を寄贈し一般入場者に試用を乞ふべしと云ふ初日の重なる取組左の如し

（大和松	袖の浦）	淀車	大蔵山
嫁山	玉櫻	（小鳴門	小九紋龍
改心	（小若島	湊川	加古川
荒石	山田川	小染川	九紋龍
（朝日松	玉の森	（大木戶	
鶴ケ瀧	岩友	響矢	

●悲慘な一家に惠與金　昨紙三面に記載の悲慘なる一家に對し本社仁川支局を通じて寄贈方托送せられし奇特者ありしより早速同人に送付せり　一金二圓也　仁川鐵工所より

●蟇仙人の仙術の理法（八）

余の視たる片田源七翁の實驗に就て　福田山水

頃者二十餘日間新報發行停止の爲め、自然、理法の解說も一向に捗取らず、回を重ぬること僅かに七回に過ぎざるに早くも一個月に亙んとし、蝦蟇仙人の噂の如き、巷說已に跡を絕つて閑口

●演藝だより

●歌舞伎座　浪界の驍將雲右衞門入道は先月當地にて大當りを占め其後滿州各地にても鶏る驚大喝采を得つゝあるが再び來る廿四日頃當地に乘り込み例の悲絕快絕なる神技を演ずる由なり

●壽座　曾我廼家五郎一座にて十九日の藝題及び重なる役割は一番目浮世の命綱三場、二番目身代大名三場、三番目袷子三場、四番目喜劇夫婦三場にして堆井正宗、茶亭由藏、車夫三太郎、植木屋勘太郎（辨慶）茶亭の女將、れ染の方　令孃秋子、子爵令孃玉子（千鳥）糸屋の爺、家老八の進、紳士佐藤（蝶太）万吉、奴豆腐平、井上文學士（千歲）

●浪花館　娘義太夫豊竹小知榮一座十九日の語り物及び節振れは御祝儀實の入船（入登太夫）伊賀越二段目（小勢伊）鏡山草履打の段（小富）壺坂山六助住家（小吉）御所櫻三段目（當四才小萬）忠臣藏七段目（小三）三十三所壺坂寺（小勝　義士）赤垣源藏德利別れの段（小智榮）大切鎌倉三代記三浦別れの段（身振總掛合、三味線鶴澤寬三才三國糸）

公園に於て例年の如く二十一日以後毎週木、日兩曜夜間奏樂あるべく從來は朝鮮樂のみなりしが本年は日本軍樂隊の演奏もある筈なりと云ふ

人は、恐らくは其誇大なる廣告や評判に驚かされて過大に想像し、定めし蝦蟇仙人は普通人の企及し難き廉訶不可思議なる一大威力を有し居りて、炎々たる猛火の眞只中をも、袂を飜へし悠々として渡るのだらうと思ふものが多からう、然が事實は格別愕く程の事でも無く、幅二尺五六寸長サ六尺内外の大火鉢一面にたてられた熾火の上を三歩に踏み切つて驅け渡るので、其の踏み切り具合は一方の足で一度他の一歩で二度合せて三度に過ぎない、うして此火中踏み切りに要したる時間は、余が觀覽當夜の測定に依れば約二秒時の瞬間であつた、尤も其際に於ける蝦蟇仙は素足裸足の儘で、足部踵底など何等奸曲の設備無かりし事は余も信じて疑はない處である、且つ其赫々たる炭火の上を正に三步に驅け渡りたる事實も亦余として疑ふ餘地はないと思ふ、然らば何人にも蝦蟇仙の行ひたるが如く容易に斯く火中を渡り得らるべき歟、假令無理に渡り得るとするも蝦蟇仙の如く跟底に別段火傷等の異狀もなく怪我も仕ないで濟み得るだらふか、思ふにうれは何人にも必ず出來得べき事實とは云ひ難から、否事ろ普通人として容易に行ひ難き事柄かも知れない、さらば獨、蝦蟇仙人のみ如何にして是を能くせしや、はた其火渡りの理法如何は余白無きを以て次號に譲る事とする

▲蝦蟇仙人の火渡りの理法

蝦蟇仙の實驗を未だ親しく御覽せざる

て一言批評を試みて見よう。

踏みの實驗に、物質的方面の理論に於ず蝦蟇仙人の火渡り及び熱湯掬ひ白刃して後段に之を述ぶることゝなし、先ので、是等心理作用の研究解釋は一括於ては格別の相違が無いと思考されるを其本來の心理作用精神狀態の根本義に火中を渡るも熱湯を掬ふのも異巧同轍作用に至つては、燒け火箸をシゴクも釋義すべき要あれども、凡ろ此種の心理序として其に術者の心理作用に就て就ては其解釋を保留してあるので、順件やら心理作用、即ち精神力の活用に理由に就て卑見を述べ、猶は最後の條を素手にてシゴキ得べき物質的方面のそこで前回に於ては、燒けたる鐵火箸を竟ふことゝしよう。

にあらざれば、尻に角簡明に解說の要に至つて是を掴くは聊か鑠動の嫌無き猶の域はあらんも、稿已に半を過ぎ今ては既に陳套にして六日の高橋十日の術の理法なる選題の命題も、讀者に於にするもの無く、隨つて蝦蟇仙人の仙

▲若槻兒三郎（釜山府尹）十八日巳城館へ

▲高根信禮（木浦民團長）同

▲八尾嘯（總督府技師）同局致問へ

▲京龍兩驛の賓客

▲南大門驛乘降客　十九日の分

▲龍山驛乘降客　十九日の分

▲京城手形交換高
